

# 平成20年度 緑区社会福祉協議会事業計画概要

## 基本方針

- 方針 : 区民から期待されている在宅福祉サービスを拡充していきます。
- 方針 : 地域福祉保健計画・地域活動計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」(平成18年度～22年度)をもとに基本理念、5つの基本目標と、15の小目標をもとにした各種事業を当事者団体、市民福祉活動団体、地区社会福祉協議会等と協働してすすめていきます。
- 方針 : **区社協機能強化にかかる10の重点項目を設け実施していきます。**

計画の5つの基本目標と  
15の小目標

基本理念「誰もが安心して暮らし続けられる緑区をめざして～一人ひとりが主役・共に支えあうまちづくり～」

	<従来事業>	<新規・拡充事業>
<b>基本目標1</b> 1 住民同士が顔見知りとなり、地域で支えあえる関係づくりをすすめます	地域でのつながりを大切にまちづくり(つながり) 地区社会福祉協議会の活動支援	地区社協単位でのボランティア相談窓口の開設(拡充)
<b>基本目標2</b> 1 身近な地域でボランティアの仲介ができるようにします 2 ボランティア活動に気軽に参加できる仕組みづくりをすすめます 3 障がい児・者を支援するためのボランティアを育てていきます 4 思いやりのある人を育てる地域をつくります	「一人ひとりの力」が発揮できるまちづくり(人材・担い手) <ボランティアセンター事業> ボランティアセンター相談コーナー、ボランティア育成講座 <障がい児者余暇支援事業> 余暇支援・ボランティア講座 <地域福祉保健計画・地域活動計画> 地域福祉団体交流会 知っとこやっこフォーラム <福祉教育事業> 夏休み体験学習、学校からの相談対応講師派遣	地区社協ボランティアコーディネーター研修の意義(新規) 団塊の世代を対象としたボランティア講座を開催(新規) 障がい者支援ボランティア若年層の拡大(新規) 地域支援コミュニティワーカー育成研修(新規) 様々な地域福祉団体の交流(拡充) ハートバリアフリー福祉教育の地域出張研修(新規)
<b>基本目標3</b> 1 身近な「場」を有効活用できるようにします 2 同じような目的をもった人が集える機会や場を増やします 3 世代間のつながりがもてるような機会や場づくりをすすめます	みんなが活動できる「場」のあるまちづくり(場・機会) <緑区福祉活動拠点運営> 研修室等貸出・管理 <子育てネットワーク> 子育て新聞発行、子育て連続講座・フェスティバル <緑区福祉活動拠点事業> ハーモニーまつり	ご意見箱を生かした使いやすい活動拠点の運営(新規) 子育てガイドブックの改訂版作成(拡充) 福祉保健に興味をもった様々な世代の交流(拡充)
<b>基本目標4</b> 1 困ったときに身近な地域での相談先がわかるようにします 2 福祉・保健に関する情報提供を、より積極的に行っていきます 3 誰もが情報を入手しやすい環境整備をすすめます 4 支援が必要な人の情報を地域単位で把握しやすくしていきます	必要な情報が入手しやすいまちづくり(情報) <広報啓発事業> コミュニケーションボード大作戦 <広報啓発事業> 社協だより発行、ホームページ、タウンニュース <広報啓発事業> 区社会福祉大会 <年末たすけあい事業> <地域ケアシステムの推進>	コミュニケーションボードの対象者、市場の拡大、担い手の地域展開(拡充) ホームページ地区社協版の更新(拡充) 地域サポートガイドマップの作成支援(拡充) 区社協と地域ケアプラザが連携して地域に望まれた情報発信を行う(拡充)
<b>基本目標5</b> 1 災害・緊急時や犯罪防止などに地域で対応できるよう取り組みます 2 誰もが安心して安全に出かけられるまちづくりをすすめます 3 誰もが心豊かで、より健やかに生活できるようにしていきます	「安心・安全・健康」のまちづくり(安心・安全・健康) <災害弱者支援事業> 災害訓練への障がい者参加支援、緑区災害ネットワーク参画 <送迎サービス事業> 送迎ニーズへ送迎車両3台で対応、運転ボランティア講習会 <あんしんセンター事業> 権利擁護相談業務、財産保全・金銭預かりサービス <生活福祉資金事業>	黄色いバンダナ作成支援(新規) 障がい児者防災マニュアルの活用(新規) 肢体障がい児送迎支援の検討(新規) 地域ケアプラザ、福祉機関との事例検討、ケースカンファレンス事業(拡充) 生活福祉資金の長期滞納者を減らすための指導強化(拡充)